

くろゆり通信



第103号 平成24年7月発行
 発行者 国土交通省中部地方整備局
 天竜川上流河川事務所
 小渋川砂防出張所
 小渋川支部安全協議会

今回のくろゆり通信では、大鹿小の現場見学会、三六災害慰霊祭の様子をお伝えします

大鹿小3、4年生 現場見学会

6月19日、大鹿小3、4年生12名を対象とした現場見学会が小渋川砂防ステーションで行われました。三六災害や砂防事業について勉強したあと、土砂災害のハザードマップを使って自分たちの家の場所と、近隣の避難先について確認しました。砂防工事現場へも皆で出向き、コンクリートの打設状況を見学しました



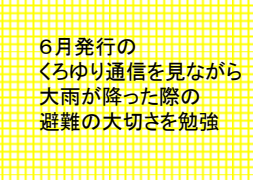
6月19日午前9時
元気に小学校を出発



数年前の大鹿小4年生が三六災害について調べた「ぼくらの大鹿村」を見ながら熱心にメモをとる12名



模型を使って砂防事業、地すべり事業について学びました



6月発行のくろゆり通信を見ながら大雨が降った際の避難の大切さを勉強



バラバラだった地図を...



みんなで協力して一つの地図に

自分の家はどこかな？
近くの避難所はどこかな？

バラバラになっていたハザードマップをみんなで協力してテープで張り合わせ大きな地図を完成させ、自分の家がどこで、いざというときにどこに避難すればよいか、を確認しました
 4年生のおにいさん、おねえさんが、3年生をしっかりフォローして、全員が確認することができました。



釜沢地区で施工中の砂防工事現場を見学。
 私たちの生活を守るために山奥でがんばっているおじさん達にお礼をいいました

～現場見学会を終えての感想～ (抜粋)

地図を組み立てて、ひなん場所を教えてもらいました。中学校の近くだったので、よかったです。わかりやすく教えてもらってよかったです
 エジげん場が見れたり、もけいでさいげんしたところを見れたりできてよかったです。どしゃがい水をふせくには、あんなくふうがなくてびっくりしました

わたしは、自分のあん心の所はしりませんでした。だけど、大しかの地図であん心な場所をいっぱい見つけられてうれしかったです。これからも、ダム工事やコンクリートのものくなった所をしょうぶにかえてください。よろしくおねがいします
 ぼくたちのすんでいる日本はどしゃがよくずれることや、どういう時にひなんすればよいかよくわかりました

いんしょうにのこったことは、ゴムで、できていたところが、すごいです。石がはねてびっくりしました。今日はすごかったのしかったです
 きげんな時でも、半分ちょっとの人がひなんしないで、家の中のところやうのがはじめて知りました。でも、もしそうになったら、地図を作った時のばしょにいけないといけないのがわかりました

コンクリートを運んでいる所をはじめて見て、とってもビックリしました。そこにはたらいっている人たちは、大へんなんだなあと思いました。これからもがんばってください。
 工事げんばを見せてもらいました。二番目に行ったところは、ユークオーキャッチャーみたくて、おもしろかったです。家に帰ったら、家そくに、教えてあげたいです

今日の勉強で、ひなん場所にけげん、前ぶれなどが、しっかり勉強でわかってよかったです。家に帰ってお母さんやお父さんとひなん場所をしっかりきめて、ひがいの時にそなえて、みを守りたいです。ありがとうございました
 ち図のくみだてなど、クイズみだいなのをだして、おもしろかったです

「いつもよりすごい音がしたら、外の様子を見てにげる。」ということがわかってうれしかったです。
 大しかをまもることをやってくれてありがとうございます。本当のダムを見せてもらってダムと上のところにたくさんすなとか石があってダムはこんなためられるんだと分かってうれしかったです

三六災害慰霊祭が行われました

6月29日、大鹿慰霊碑、文満慰霊碑への献花・焼香が行われました



編集後記

H22天竜川水系釜沢第3砂防堰堤補強工事
 木下建設(株)梅本智佳



51年の時がたっても、災害の教訓を忘れることなく次世代へつなげていくことが今を生きている私たちの責任であると思いました